



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名 ダイワボウホールディングス株式会社
 コード番号 3107 URL <http://www.daiwabo-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阪口 政明
 問合せ先責任者 (役職名) 財務IR室長 (氏名) 梅澤 覚
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6281-2404

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	121,228	7.8	267	△44.5	238	△32.2	36	—
25年3月期第1四半期	112,410	3.4	481	△71.1	351	△78.7	△88	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 521百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △295百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	0.20	—
25年3月期第1四半期	△0.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	220,415	44,079	19.8
25年3月期	232,077	44,277	18.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 43,587百万円 25年3月期 43,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	248,000	2.5	1,900	△2.7	1,500	△3.4	500	76.6	2.67
通期	530,000	3.2	6,100	3.3	5,200	3.4	2,300	△6.0	12.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	192,712,926 株	25年3月期	192,712,926 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	5,524,015 株	25年3月期	5,906,938 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	186,946,320 株	25年3月期1Q	191,256,197 株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式を含めております。
(26年3月期1Q 5,282,000株 25年3月期 5,672,000株)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]2ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、金融緩和に伴う円高是正や株価上昇を背景に、輸出は底堅く推移し、個人消費や企業収益が改善するなど、景気は自律的回復に向けて持ち直しの様相を見せ始めております。しかしながら、その一方で、海外景気の下振れリスクが景気の下押し要因となり、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような環境のなか、当社グループは中期経営計画「イノベーション21」の2年目を迎え、「戦略的グループ協業体制の推進による事業機会の創出」「国際市場におけるマーケティング戦略の強化」「新たな収益モデルとしてのソリューション・ビジネスへの転換」を事業方針に掲げ、新たな成長モデルの確立と連結企業価値の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は121,228百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は267百万円（前年同期比44.5%減）、経常利益は238百万円（前年同期比32.2%減）、四半期純利益は36百万円（前年同期は88百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ITインフラ流通事業)

法人向け市場では、IT投資が慎重ながらも堅調に推移するなか、地域密着活動の成果が着実に形となって現れ、都市圏を中心に売上は増加しました。一方、個人向け市場では、タブレット型パソコンの台頭が顕著となるものの、パソコン全体としては需要が落ち込み、振るいませんでした。利益面では、競争激化による平均単価の下落の影響を受けるなか、営業強化施策としての販売管理システム刷新の設備投資を進めたこともあって、低調に推移しました。以上の結果、当事業の売上高は103,413百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は165百万円（前年同期比63.6%減）となりました。

(化合織・機能資材事業)

合織部門では、原綿は衛生材・建材用途が好調に推移し、不織布製品は猛暑予想によりレーヨン系不織布の需要が増加したほか、新規に販売したコスメ商品の売上も伸長しました。レーヨン部門では、衣料用機能性原綿の受注は増加し、対米向け防災素材は輸出の回復もあり、収益は改善しました。また、機能製品部門では、主力の土木資材は昨年並みの収益にとどまりましたが、樹脂加工部門では、重布の委託加工と縫製品関係が堅調に推移しました。以上の結果、当事業の売上高は9,696百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は395百万円（前年同期比74.7%増）となりました。

(衣料品・生活資材事業)

カジュアル製品では、海外生産拠点を活用したトランクスやパンツの受注が増加し、機能製品では、インナー製品の販売が好調に推移しましたが、海外人件費や原材料価格の上昇により利益面では圧迫されました。また、ブランド製品では、主力の子供向け商品の受注が低迷し、苦戦を強いられました。さらに、海外紡績部門では、需要回復により収益は改善しましたが、テキスタイル部門では、寝装用途が原料高騰の煽りを受け、採算は悪化しました。以上の結果、当事業の売上高は4,994百万円（前年同期比8.0%増）、営業損失は211百万円（前年同期は161百万円の営業損失）となりました。

(工作・自動機械事業)

工作機械部門では、主力の立旋盤について、国内においては好調に推移する航空機、鉄道分野を中心に、海外においては米国・中国を中心に見本市に出展するなど拡販活動に努め、一定の受注は確保しました。また、自動機械部門では、医薬品ユーザーを中心とした積極的な営業展開を推し進めました。しかしながら、中国経済の回復の遅れや低調に推移する国内設備投資等により、収益は低迷しました。以上の結果、当事業の売上高は1,768百万円（前年同期比13.3%減）、営業損失は65百万円（前年同期は6百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により前連結会計年度末に比べて11,661百万円減少し220,415百万円となりました。また、負債は、支払手形及び買掛金の減少等により前連結会計年度末に比べて11,463百万円減少し176,336百万円となり、純資産は、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末に比べて197百万円減少し44,079百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月8日に公表しました平成26年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想から変更をしておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,500	11,563
受取手形及び売掛金	111,811	101,636
商品及び製品	23,546	25,275
仕掛品	2,707	3,535
原材料及び貯蔵品	1,528	1,707
その他	12,880	8,144
貸倒引当金	△457	△463
流動資産合計	164,516	151,398
固定資産		
有形固定資産		
土地	26,170	26,179
その他(純額)	18,700	18,882
有形固定資産合計	44,871	45,061
無形固定資産		
のれん	8,870	8,512
その他	2,800	4,190
無形固定資産合計	11,671	12,703
投資その他の資産		
その他	11,477	11,709
貸倒引当金	△459	△456
投資その他の資産合計	11,018	11,252
固定資産合計	67,560	69,016
資産合計	232,077	220,415

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,837	97,795
短期借入金	24,311	24,758
未払法人税等	454	115
賞与引当金	2,222	1,211
その他の引当金	350	270
その他	7,880	10,217
流動負債合計	145,056	134,370
固定負債		
長期借入金	29,214	28,286
退職給付引当金	5,894	6,074
その他の引当金	47	51
その他	7,587	7,553
固定負債合計	42,744	41,966
負債合計	187,800	176,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,696	21,696
資本剰余金	7,887	7,887
利益剰余金	17,420	16,686
自己株式	△888	△832
株主資本合計	46,115	45,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	323	489
繰延ヘッジ損益	19	7
為替換算調整勘定	△2,659	△2,348
その他の包括利益累計額合計	△2,316	△1,850
少数株主持分	478	491
純資産合計	44,277	44,079
負債純資産合計	232,077	220,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	112,410	121,228
売上原価	102,259	111,110
売上総利益	10,151	10,118
販売費及び一般管理費	9,670	9,850
営業利益	481	267
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	67	71
持分法による投資利益	8	37
その他	127	130
営業外収益合計	211	245
営業外費用		
支払利息	213	200
その他	128	73
営業外費用合計	341	274
経常利益	351	238
特別利益		
関係会社株式売却益	—	73
その他	—	3
特別利益合計	—	76
特別損失		
固定資産除売却損	—	3
投資有価証券評価損	27	—
特別退職金	21	—
その他	0	0
特別損失合計	49	3
税金等調整前四半期純利益	302	311
法人税、住民税及び事業税	23	60
法人税等調整額	367	214
法人税等合計	391	274
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△89	37
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△88	36

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△89	37
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△345	163
繰延ヘッジ損益	△9	△11
為替換算調整勘定	131	295
持分法適用会社に対する持分相当額	15	35
その他の包括利益合計	△206	483
四半期包括利益	△295	521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△308	502
少数株主に係る四半期包括利益	12	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ITイン フラ流通 事業	化合織・ 機能資材 事業	衣料品・ 生活資材 事業	工作・ 自動機械 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	95,544	8,910	4,625	2,039	111,120	1,290	112,410	—	112,410
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	55	68	7	—	130	223	354	△354	—
計	95,600	8,978	4,633	2,039	111,251	1,513	112,765	△354	112,410
セグメント利益 又は損失(△)	453	226	△161	6	524	△57	467	14	481

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気機器の組立・製造・販売業、ゴム製品製造販売業、ホテル業、ゴルフ場業、不動産業、保険代理店業及びエンジニアリング業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ITイン フラ流通 事業	化合織・ 機能資材 事業	衣料品・ 生活資材 事業	工作・ 自動機械 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	103,413	9,696	4,994	1,768	119,873	1,355	121,228	—	121,228
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	43	108	14	—	167	182	350	△350	—
計	103,457	9,805	5,009	1,768	120,041	1,538	121,579	△350	121,228
セグメント利益 又は損失(△)	165	395	△211	△65	282	△22	260	6	267

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気機器の組立・製造・販売業、ゴム製品製造販売業、ホテル業、ゴルフ場業、不動産業、保険代理店業及びエンジニアリング業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。